

平成24年度第2回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会

1 開催日時・場所

平成24年10月23日（火） 18:00～20:00

国保会館 5階 大会議室

2 次第

(1) 開会

(2) 事務局長挨拶

(3) 議題

① ジェネリック医薬品利用差額通知について

【資料1】ジェネリック医薬品利用差額通知について

② 平成23年度事業実績及び各会計決算について

【資料2】平成23年度北海道の後期高齢者医療

③ 平成24年度補正予算の概要について

【資料3】平成24年度広域連合補正予算案の概要

④ 第2次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（素案）について

【資料4-1】第2次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（素案）について

【資料4-2】第2次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（素案）

（計画期間：平成25年度～平成29年度）

【資料4-3】第2次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（素案）新旧対照表

(4) 閉会

3 出席者

別紙1 出席者名簿のとおり

4 議事要旨

別紙2 議事要旨のとおり

平成24年度第2回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会出席者名簿

平成24年10月23日

【委員】

区分	団体名等	役職名	氏名	出欠
学識経験を有する者又は公益に関する団体の役職員	学識経験者		まつむら みきお 松村 操	出
	北海道市長会	参事	いがらし としみ 五十嵐 利美	欠
	北海道町村会	政務部副部長	くまがい ひろし 熊谷 裕志	欠
	北海道国民健康保険団体連合会	事務局長	しみず ようじ 清水 洋史	出
	北海道病院協会	事務局長	かわかみ しげる 川上 茂	出
	北海道社会福祉協議会	常務理事	まつおか おさむ 松岡 治	出
	北海道老人クラブ連合会	副会長、常務理事	ふしばやし いさお 藤林 功	欠
	北海道シルバー人材センター連合会	常務理事、事務局長	ふくち ひろし 福地 宏	欠
保険医又は保険薬剤師等の団体の役職員	北海道医師会	常任理事	なおえ じゅいちろう 直江 寿一郎	欠
	北海道歯科医師会	理事	まきの よしおみ 牧野 義臣	出
	北海道薬剤師会	常務理事	かつら まさとし 桂 正俊	欠
保険者又はその組織する団体の役職員	健康保険組合連合会北海道連合会	常務理事	いわさき のりふみ 岩崎 教文	出
	北海道薬剤師国民健康保険組合	理事長	とうよう あきひろ 東洋 彰宏	欠
	全国健康保険協会北海道支部	業務部長	よこしま かずし 横式 一司	出
	地方職員共済組合北海道支部	事務長	いいだ こうじ 飯田 孝二	欠
被保険者等で公募に応じた者			いしづか こうじ 石塚 康治	出
			たにおか やすのり 谷岡 康徳	出
			なかい かずお 中井 和夫	出
			みうら まきよ 三浦 雅代	出
			わたなべ ていじろう 渡邊 貞治郎	出

【事務局】

役職名	氏名	役職名	氏名
事務局長	まつだ しんいち 松田 伸一	企画班長	さかい まさし 酒井 仁
事務局次長（総務担当）	うえだ よしひこ 上田 義彦	企画班調整担当係長	おの よしとも 小野 良智
事務局次長（調整担当）	はまつか けんいちろう 浜塚 研一郎	企画班班員	すずき こうた 鈴木 浩太
事務局次長（業務担当）	よしおか まさひこ 吉岡 雅彦	資格管理班長	まつした まさなお 松下 正直
総務班長	こいけ のりひさ 小池 典久	資格管理班収納対策担当係長	やまぐち あや 山口 綾
総務班会計担当係長	くさうら ひろき 草浦 弘樹	医療給付班長	ほり たかし 堀 隆司
電算システム班長	いけだ つよし 池田 剛	医療給付班保健事業担当係長	むらた つとむ 村田 務

平成24年度 第2回運営協議会 議事要旨

質疑応答要旨（○：事務局 ■：委員）

【議題1 ジェネリック医薬品利用差額通知について】

- 被保険者数69万人に対して、通知数3万通は適切な通数なのか。
 - 今回はジェネリック医薬品に切り換えた場合500円以上の差額が生じる方に通知をする予定であり、この通知により、被保険者の方がジェネリック医薬品に切り換えてくれる動機につながればと考えているが、その後の結果を踏まえて次回からの条件、内容等の検討をしていきたいと考えている。
- 差額がある方だけに通知をすればいいのか、利用を促進するための広報など、色々な方法を考えた方がいい。

【議題2 平成23年度事業実績及び各会計決算について】

- 高額療養費は前年度と比較して増えているのか、減っているのか。
 - 前年度と比較して増加をしている。具体的な要因の分析はできていないが、医療費全体も上がっており、医療の高度化等も要因の一つと考えている。
- 後期高齢者医療会計予算の市町村支出金が当初予算よりも減っているが、これは当初予算の見積もりが正しくなかったのか、それとも制度が変わって減ったのか。
 - 市町村支出金は年度途中で精算を行い補正予算で減額している。制度改正があったわけではない。

■ 北海道の一件当たり及び一人当たりの診療費は全国平均と比較して上回っているが、この背景には、一般的に北海道の医療について言われている積雪寒冷、医療機関への距離が遠いなどの理由なのか。あるいは、後期高齢者医療の特殊な要因があるのか。

○ 具体的な数値の分析は出来ていない。冬期間積雪等も背景にあると思う。

■ 長寿・健康増進事業の状況の中でスポーツクラブ、保養施設等の利用助成が1億1千万円となっているが、主な支出は何か。

○ 温泉施設利用が52市町村である。その他は温水プール利用、水中運動教室受講などとなっている。

■ 広域連合の組織は職員43名体制だが、この人数で広域連合に期待されている事業が全て行われているのか。

○ 広域連合の職員は全て関係団体、構成市町村からの派遣職員で構成されており、派遣期間は、2、3年で入れ替わっている。各市町村においても行政改革をし、職員を減らしている中で、派遣職員の増員を求めるのは厳しい状況になってきている。

　　今後は新たな高齢者医療体制がどのようになっていくかを見据えながら判断することとなるが、現行体制を当面は維持していきたいと考えている。

【議題3 平成24年度補正予算の概要について】

質疑応答なし

【議題4 第2次北海道後期高齢者医療広域連合広域計画（素案）について】

■ 施策の方針として5項目記載されているが、医療費の適正化は重複・頻回受診など他

にも色々あると思うが、この項目しか推進を取り組まないということか。

○ 制限的なものという意味合いではない。重複・頻回受診の対策は具体的には決まっていないが、他にも色々な適正化の方策はあると思う。今後、パブリックコメント等色々な意見を参考にし、検討を加えていきたいと考えている。

■ 少子高齢化に伴う人口構成の変化として、平成27年度の人口の推計が記載されているが、医療費の見通しを数値として記載することはできないのか。

○ 広域計画とは、広域連合と構成する市町村との役割分担を基本に作成している。数値の目標計画ではない。

■ 広域連合事務局と市町村窓口業務との連携を深める取り組みはしているのか。

○ 後期高齢者医療制度を運営していくためには、市町村との連携が重要と考えている。年2回、市町村連絡調整会議を開催し、意見交換や情報交換、アンケート調査を行い事務の参考にしている。今後も円滑な制度の運営に努めていきたい。

■ 基本計画の作り方は、パターン化されたものがあるのか。都道府県の広域連合の考え方に基づいて策定されているのか。

○ パターン化されたものはない。今回の策定は、構成内容等をより分かりやすくという考えの基に素案を作成した。

■ 「高齢者医療を取り巻く現状と医療保険者としての課題」は整理され記載されているが、その対策等の踏み込み方が足りないと思うが、何かできることはないのか。

○ この計画は基本的には、市町村との役割分担等について定めていく計画となっている。まだ素案の段階であり、パブリックコメントも含め、内容の精査、検討をする必要があると思う。

- 「全国と比べて高い水準にある医療費」に課題が記載されているが、広域連合と被保険者が共通の課題認識を持つために、キャッチフレーズを付けてはどうか。

- 医療費適正化計画ばかりではなく、禁煙対策についても、その対応をどこかに入れた方がいいのではないか。